

イトマンオープン 2022 / 東京都ジュニア長水路水泳競技大会

競技会参加時の新型コロナウイルス感染症拡大防止に関する 注意事項および誓約事項

1. 水泳競技会における感染拡大予防ガイドラインおよび大会主催者の指導や指示を遵守し、新型コロナウイルス感染症などの感染防止に努めること。ガイドラインおよび注意事項に違反した者または団体は出場停止の上、退場処分とする。
2. 大会初日の7日前以内に新型コロナウイルス感染の疑いや発熱などの症状が認められる者の参加を中止すること。また、登録団体は所属選手およびスタッフの健康状態を必ず確認すること。
3. 大会初日の7日前以内にチーム（クラブ）の中から新型コロナウイルス陽性者が発生した場合は、練習場所および練習時間を同じくする者の参加を中止すること。
ただし、新型コロナウイルス感染者および濃厚接触者を除き、来場72時間以内のウイルス検査（PCR、TMA、StAmp、抗原定量、抗原定性など）にて陰性を確認した者の出場は認める。（陰性証明書は不要、後日陽性となった場合または大会実行委員会から要請があった場合に提示できるような記録は必要）
4. 競技会会場への入場に必要な書類等は正確に記入すること。引率責任者は所属選手およびスタッフ全員の書類について不備がないか確認すること。不備がある場合は入場を許可しない。また、記載事項に虚偽があった場合は当該団体の出場を禁止し厳重に処分する。
5. 主催者から競技会への欠場要請があった場合はそれに従うこと。
6. 競技会後 **7日以内** に新型コロナウイルスに感染またはその疑いが生じた場合は、速やかに主催者に報告すること。
7. 感染症拡散防止の目的で保健所ならびに関係機関に健康管理表に記載の個人情報提供される場合がある。
8. 原則来場72時間以内のウイルス検査（PCR、TMA、StAmp、抗原定量、抗原定性など）を行い、陰性を確認すること。（陰性証明書は不要、後日陽性となった場合または大会実行委員会から要請があった場合に提示できるような記録は必要）

イトマンオープン 2022 / 東京都ジュニア長水路水泳競技大会

追加要項

1 競技について

- (1) 本競技会は、(公財)日本水泳連盟競泳競技規則に則り実施する。
- (2) 競技は、予選・決勝とも10レーンで、タイムスケジュールどおりに行う。
- (3) 200m以下の種目は予選とA決勝・B決勝・C決勝を行う。
- (4) 400m以上の種目はタイムレース決勝とし、13歳以上の年齢区分で行う。
- (5) 予選は12歳以下、13歳以上の年齢区分で行う。
- (6) A決勝・B決勝・C決勝は男女ともに9～10歳・11～12歳・13～14歳・15～16歳・17～18歳の年齢区分に分けて行う。
- (7) 決勝は、予選の結果上位10名が出場できる。なお、棄権者が出た場合は、次点上位より順次出場権を与える。
- (8) B決勝は、決勝進出者を除く予選上位10名を対象とする。なお、棄権者または決勝への繰り上げ出場者が出た場合は、次点上位より順次出場権を与える。
- (9) C決勝は、A決勝進出者およびB決勝進出者を除く予選上位10名を対象とする。但し、東京都登録団体に所属する選手に限る。なお、棄権者またはB決勝への繰り上げ出場者が出た場合の補欠は2名とし、上位より順次出場権を与える。
- (10) 決勝進出において、同記録で定員を超えた場合は、抽選にて決勝進出者を決定する。なお、15分以内に該当選手または所属責任者が現れない場合は、抽選の権利を失う。抽選の権利を失った選手は、決勝進出の補欠には該当しない。
- (11) 招集は競技開始20分前から行う。本人確認のために、招集所にはADカードを持参すること。招集所受付で水着の確認を行う。
- (12) 予選を棄権する場合は、実施当日の8時30分までにリゾリューションに棄権届出用紙を提出すること。指定時間までに棄権届出用紙の提出がない場合は1種目あたり棄権料3,000円を徴収する。
- (13) 決勝およびB・C決勝の棄権はできない。やむなく棄権する場合は、該当予選競技終了後30分以内にリゾリューションに1種目につき棄権料3,000円を添えて決勝棄権届出用紙を提出すること。指定時間までに決勝棄権届出用紙を提出しなかった場合は無断棄権とみなす。
- (14) すべての競技において無断で棄権した場合は、棄権料とは別に1種目につき3,000円の罰金を徴収する。
- (15) 棄権料・罰金に関して、当該選手が所属する団体は連帯してその責務を負う。
- (16) 予選競技用・決勝競技用棄権届出用紙は(公財)東京都水泳協会のホームページから各自でダウンロードし記載すること。URL：<https://tokyo-swim.org/?p=16848>
- (17) 決勝以外の競技のスタートはオーバー・ザ・トップ方式で行う。次組のスタート完了まで水中待機し、スタート終了後、速やかに自レーンより退水する。50m種目、背泳ぎおよび各種目最終組は、完泳後速やかに自レーンより退水すること。決勝は横退水とする。ただし、競技の進行状況によって退水方法を変更する場合がある。
- (18) バックプレート、バックストロークレッジ付のスタート台を使用する。調整は各自で行い、確実に固定されていることを確かめること。背泳ぎにおいてバックストロークレッジを使用しない場合は、自レーンの競技役員に申し出ること。
- (19) 800m・1500m自由形における周回通知は、折り返し側に周回板を提示し、コールは行わない。
- (20) ゴールタッチはタッチプレートの有効面に確実にタッチすること。
- (21) 予選は組のみの紹介、決勝・B決勝・C決勝は各レーンで紹介を行う。
- (22) 選手は退水後、係員の指示に従いダイビングプールにてダウンして、脇からスロープを通りサブプールへ退場すること。
- (23) 水着および身体へのテーピングは禁止する。ただし治療目的の場合は審判長の許可を得ること。
- (24) 本大会はADコントロールを行うので、常にADカードを携帯すること。

2 表彰について

- (1) 決勝競技終了後、各種目1位～3位までの者にメダルと賞状を授与する。4位～8位までの者に第1ゲート付近にて賞状を授与する。(B決勝・C決勝は除く)
- (2) 最も活躍した選手に最優秀選手賞(男女各1名)を授与する。
ただし、最終日(5/15)の最優秀選手表彰式に出席できない選手は選考対象外とする。
- (3) 各区分で活躍した選手に優秀選手賞(年齢区分別・男女別各1名)を下記の日程で授与する。
12歳以下の優秀選手賞は5/8(日)第一部全競技終了後
13歳以上の優秀選手賞は5/15(日)第二部全競技終了後
- (3) 最終日(5/15)の第二部全競技終了後に最優秀選手表彰式を行う。

4 健康管理表兼参加同意書について

- (1) 健康管理表兼参加同意書(様式 A-05)は、各団体にてホームページよりダウンロードして出場選手およびチームスタッフに配布すること。(必ず指定の様式をダウンロードし、A4サイズでプリントすること)
- (2) 本追加要項「17 大会参加にあたっての同意事項について」に記載の各事項に同意した者に限り会場への入場を許可する。同意事項をよく確認の上、同意欄に署名すること。未成年者は保護者の署名を必須とする。
- (3) 大会7日前からの体温と体調を正確に記録すること。
- (4) 健康管理表兼参加同意書は、選手・チームスタッフ問わず全ての入場者において提出を必須とする。大会参加の初日に入場受付に提出すること。(大会期間中1枚)
- (5) 第一部に参加した選手(女子800m自由形、男子1500m自由形)、チームスタッフが第二部にも参加する場合は第二部入場時に、健康管理表兼参加同意書(様式 A-05)に必要事項を記入の上、再度提出すること。

5 登録団体用健康確認票(兼誓約書)について

- (1) 登録団体用健康確認票兼誓約書(様式 T-03)は、各団体にてホームページよりダウンロードして持参すること。
- (2) 団体責任者は所属選手全員の健康状態を確認し、登録団体用健康確認票兼誓約書を9時までに入場受付(第6ゲート付近)に提出すること。(大会期間中1団体につき1枚)
- (3) 登録団体用健康確認票兼誓約書の提出が確認できない団体の出場は認めない。

6 ADカードについて

- (1) ADカードは各団体にてホームページよりダウンロードして団体の承認印を押印の上、出場選手およびチームスタッフに配布すること。(A4サイズでプリントして4分割する。プリントはモノクロでも可)
- (2) 選手ADは大会期間中選手1名につき1枚とし、必ず記名すること。
- (3) チームスタッフADは1団体1枚の基本ADに加え、出場選手5名につき1枚追加できる。ただし、基本ADと合わせて合計5枚を上限とする。
- (4) チームスタッフADは団体スタッフに限り使用できる。選手の家族や友人などの使用は禁止する。
- (5) ADカードは記名されている選手またはチームスタッフ専用とし他者への流用は認めない。
- (6) 会場内では常時ADカードを携行すること。
- (7) ADカードを収納するケースは各自用意すること。(折らずに収納できるサイズを使用すること)
- (8) 大会期間中の体温と体調を必ず記入すること。
- (9) 出場最終日の退場時にADカードを退場受付に提出すること。大会終了後にADカード提出を確認できない選手の記録は抹消する。

- (10) ADカードは参加団体の責任において規定に則り発行すること。不正発行および不正使用を確認した場合は、当該団体を退場処分とする。
- (11) 第一部に参加した選手（女子 800m自由形、男子 1500m自由形）、チームスタッフが第二部にも参加する場合、第一部の際は【第一部用ADカード】、第二部の際は【第二部用ADカード】に必要な事項を記入の上携行すること。

7 入退場について

- (1) 大会期間中（第一部 5月7～8日、第二部 5月14～15日）は、7時15分に開場しチームスタッフ（各団体1名）、選手、その他の順で入場する。
（注意）必要以上に早く来場しないこと。
入場を待つ間はマスクを着用し、密集しないよう対人距離を保つこと。
- (2) 入退場は、歩道橋直結白ゲートとする。（別紙「会場図」を参照）
- (3) 入場の手順は以下のとおりとする。
 - ①ADカードチェック
 - ②健康管理表兼参加同意書提出（出場初日のみ）
 - ・記入漏れがないか事前に確認すること。
 - ・健康管理表兼参加同意書は、あらかじめ手元に用意しておくこと。
 - ③検温
 - ・検温カメラで自動計測する。係の指示に従い1列でカメラの前を通過すること。
 - ・37.5℃以上を検知した場合は、救護担当の指示に従うこと。
 - ④入場許可スタンプ
 - ・ADカードに許可スタンプを押印する。
入場時の際、ADカードはケースから取り出ししておくこと。
- (4) 入場手順のいずれかに問題がある場合は、救護担当者の判断により入場を許可しない場合がある。
- (5) 出場最終日の退場時にADカードを退場口の受付に提出すること。
- (6) 天候等の状況により開場時刻および入場方法を変更する場合がある。
- (7) 大会は無観客で実施する。保護者および一般観覧の入場はできない。

8 控え場所について（別紙「会場図」を参照）

- (1) 控え場所は観覧席のみとする。指定区域外への立ち入りを禁止する。
- (2) 荷物やカード・紐などでの場所取り行為を禁止する。一定時間以上放置された荷物類は、忘れ物として撤去する。
- (3) 観覧1階席最前列は危険防止のため使用不可とする。
- (4) 観覧席は対人距離を確保して利用すること。
- (5) メインプール更衣室は更衣のみとし、ロッカーの使用はできない。なお、荷物を放置しないこと。
- (6) サブプール更衣室は使用できない。

9 プールの使用について ※混雑状況によって変更する場合があるので、当日は係員の指示に従うこと

- (1) メインプール
 - ① 水深2m、水温27.0度±1に設定する。
 - ② ウォーミングアップは、競技開始15分前までとする。
 - ③ ウォーミングアップ時の1レーンはスタート側からにする。ダッシュレーンの代理人による順番待ちは禁止する。また、10レーンはペースレーンとする。（クロールのスイムのみ）
 - ④ 公式スタート練習は1レーンで、予選競技開始の1時間前から45分間行う。利用人数によりレーンを増やす場合がある。
 - ⑤ パドル・コード類の使用は禁止する。

- ⑥ 決勝前のウォーミングアップは、当日の指示に従うこと。
- ⑦ 練習中はホイッスルの使用を認める。ただし、電子ホイッスルに限る。

(2) サブプール

レース前のウォーミングアッププールとしての使用に限る。

- ① 水深 1.2～1.4m、水温 28.5 度とする。
- ② 基本レーン設定
1レーン：男女ダッシュレーン、2～4レーン：女子専用、5～7レーン：男子専用とする
- ③ 1500m・800m ペースレーンは下記の時間のみの使用に限る。（第一部のみの設置とする）
ペースレーン。
・ 1レーン 【12時00分～14時30分】
*上記時間はペースのみ、スタートダッシュは出来ない

- ④ パドル、コードの使用を禁止する。
- ⑤ ビート版、プルブイの使用は許可する。
- ⑥ 競技中を除き、ホイッスルの使用を認める。ただし、電子ホイッスルに限る。

(3) ダイビングプール

レース直後のダウンプールとしての使用に限る。

- ① 水深 5m、水温 28.0 度に設定する。
- ② メインプール側が男子専用、高飛び込み台側を女子専用とする。
- ③ 飛込競技用設備には触れないこと。また、突起物には十分注意すること。

10 ストレッチスペースについて

メインプール側ウッドデッキをストレッチスペースとする。

利用の際は以下の注意事項を厳守すること。

- ① 他者との対人距離を十分に確保し、常時マスクを着用すること。対人距離を確保できないと判断した場合は利用者数を制限する。
- ② 複数人でのストレッチ、補強等は認めない。
- ③ スペースの専有（場所取り）はできない。利用は 1 回 45 分以内を目安とし長時間滞在しないこと。
- ④ ストレッチスペースでの食事は禁止する。飲料の摂取は認めるが、ゴミは持ち帰ること。
- ⑤ 利用の際はできるだけストレッチマット等の敷物を使用すること。
- ⑥ ストレッチスペースでの更衣は禁止する。

11 監督者会議について

監督者会議は行わない。

12 感染症拡大予防について

- (1) 感染症予防ガイドラインに従い大会運営する。
- (2) ガイドラインに従わない場合、また大会関係者の指示に従わない場合は退場処分とする。
- (3) 大会会場内のみならず、往復の移動や日常生活においても感染症予防に努めること。

13 配信について（予定）

YouTube「かわずちゃんねる」にて配信を行う。

<https://www.youtube.com/channel/UCKXDgeqAtqJwupKbIJStFKQ>

14 競技結果（速報）および決勝のスタートリストについて

- (1) 会場で競技結果の貼りだしは行わない。
- (2) 競技終了後、速やかに本協会ホームページ、イトマン速報ページに公開する。
東京都水泳協会 ホームページ URL : <https://tokyo-swim.org/>
イトマン速報ページ URL : https://www.itoman.com/event/itoman_open/

15 大会参加にあたっての同意事項について

- (1) 水泳競技会における感染拡大予防ガイドラインおよび大会主催者の指導や指示を遵守し、新型コロナウイルス感染症などの感染防止に努めること。
- (2) 新型コロナウイルス感染の疑いや発熱などの症状が認められる場合には参加を辞退すること。また、主催者から大会の欠場要請があった場合はそれに従うこと。
- (3) 大会後 **7日以内**に新型コロナウイルスに感染またはその疑いが生じた場合は、速やかに新型コロナウイルス感染症感染報告書（CR-01）を主催者に報告すること。
（メールまたはFAXにて） Mail : oc@tokyo-swim.org FAX : 03-5422-6241
- (4) 大会期間中に発生した事故・傷病・感染症は、自己または保護者の責任において対処すること。
- (5) 感染症拡散防止の目的で保健所ならびに関係機関に健康管理表に記載の個人情報提供される場合がある。
- (6) 悪天候・自然災害または感染症流行等により大会が中止になった場合および自己または主催者の判断で出場取消しとなった場合でも申込金は返金しない。
- (7) 競技会に関しての変更点や中止等の情報はホームページに掲載する。随時確認すること。
- (8) 公益財団法人日本水泳連盟および公益財団法人東京都水泳協会が定める規則等を遵守すること。

16 その他

- (1) 熱中症に注意すること。
 - ① こまめな水分補給を心掛けること。
 - ② ペットボトル、水筒などは専用のものを使用し、他者と共有しないこと。
- (2) 選手の保護者を含め、応援・観覧のための入場はできない。
- (3) プールサイドは室内履きに限り使用を認める。
- (4) レースやウォーミングアップ時に脱衣した衣服は袋やナップザック等に入れて管理すること。
商標登録に注意すること。
- (5) 忘れ物は、リゾリューションまたは受付にて保管する。最終日競技終了後、破棄する場合がある。
- (6) 貴重品は各団体の責任において管理すること。
- (7) 事故、怪我等の無いよう各団体において十分注意すること。
- (8) 会場内の設備、備品等を破損した場合は、所属団体の責任において弁償すること。
- (9) 駅、公園等での待ち合わせは、一般利用者の迷惑になることがあり、密にもなるので避けること。
- (10) 辰巳水泳場前や近隣への路上駐車は禁止する。また、送迎や駐車場空き待ちでの路上停車も禁止する。
悪質な場合は、警察と連携し対応する。

17 大会実行委員会

公益財団法人東京都水泳協会 03-5422-6147（平日 10時～17時）
大会当日の連絡先 03-5534-6388（大会当日のみ）